

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9587

偉人先人顕彰事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	偉人先人顕彰事業		

事業種別	単年		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二 435-1194
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の名を高めた個人を、誇るべき郷土の人物として市民に広く知らしめ、市民のふるさと意識の高揚に資する。		本市の出身者又は本市にゆかりの深い者のうち、近代史及び現代史上、教育、学術、芸術、スポーツ、産業その他の分野において文化の発展に貢献し、本市の名を高めるうえで顕著な功績があった個人を顕彰し、その功績を紹介する。			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
		外務省内の陸奥宗光伯の銅像そばにある桜の苗木をいただき、管理し、その苗木を植樹及び配布し、広く氏の功績を顕彰。	外務省内の陸奥宗光伯の銅像そばにある桜の苗木をいただき、管理し、その苗木を植樹及び配布し、広く氏の功績を顕彰。 (平成30年度終了事業)	「和歌山市の偉人先人」の冊子の増刷及び配布を行い、顕彰。	「和歌山市の偉人先人」の冊子の配布を行い、顕彰。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	680	680	287	207	440	0	0	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	△57.8%	△69.6%	53.3%	△100%	△100%	0%	
人件費	正規職員	0	0	1,675	0	1,679	9,351	0	9,351	0	
	正規職員以外	0	0	432	0	452	689	0	689	0	
	小計	0	0	2,107	0	2,131	10,040	0	10,040	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	0	0	680	680	287	207	440	0	0	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.21	0.00	0.21	1.17	0.00	1.17	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.19	0.00	0.19	0.29	0.00	0.29	0.00
主な予算内訳	苗木管理及び植栽業務委託130千円、植樹プレート製作業務委託157千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
桜の苗木配布応募者数		人	目標値		50	50		
			実績値		92	89		
			達成度(%)	%	184%	178%	%	%
冊子増刷回数		回	目標値			0	1	
			実績値			0		
			達成度(%)	%	%	0%	%	%
桜の苗木配布数		本	目標値		5	10		
			実績値		5	14		
			達成度(%)	%	100%	140%	%	%
冊子配布先数		箇所	目標値			0	18	13
			実績値			0		
			達成度(%)	%	%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	今後も引き続き偉人・先人の顕彰を行う。
見直し・改善内容	本市の偉人・先人を広く市民に知ってもらえるよう方法を検討する。